

死亡災害の連鎖に今こそ歯止めを！！ 年末年始を無事故無災害で乗り切ろう！

ご安全に。加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんの連日のご奮闘に心より敬意を表します。

第9期後半もスタートして3カ月が経過しました。9月に開催した第16回定期中間大会において、全員の決意として「死亡災害発生の連鎖を直ちに断ち切ろう！危険ゼロ職場の構築で災害のない安全・安心な職場を作ろう！」と意志結集を行いました。

しかしながら、誠に残念ではありますが、現段階においてもこの負の連鎖に歯止めがかからない危機的な状況が続いています。

2018年の死亡災害発生件数と被災者数は、12月1日現在で、16件17人(報告ベース)となっており、定期中間大会以降約3カ月の間で、6件7人の仲間が、悲惨な災害で尊い命を失っています。1カ月に2人以上の仲間が命を失うという「危機的状況」の言葉だけでは表現できない大変な負の連鎖が続いています。基幹労連に集う仲間の総力をあげ、直ちにこの連鎖を止めなければなりません。このことは27万組合員とその家族の心からの願いであり叫びでもあります。

年末年始を迎えるにあたり、全ての職場において、改めて第9期後半活動方針で確認した下記事項の徹底をお願いします。

- ①2004年～2017年に発生した死亡災害事例をとりまとめ、尊い教訓として全ての組織に配布している“CD-ROM”の労使での活用を徹底し、改めて類似災害の撲滅に取り組んで下さい。
- ②危険ゼロ職場の構築をめざし、働く者・現場目線で一步踏み込んだ危険箇所の抽出や指摘など、労働組合が担うべき役割を再確認するとともに、安全衛生委員会等を通じた改善に取り組んで下さい。
- ③職場環境が女性や高齢者の方にとって安全・安心に働ける環境になっているか否かを労使安全パトロール等で確認し、環境改善に取り組んで下さい。
- ④基幹労連ホームページのデータバンク内に、安全衛生活動に資する情報を掲載しています。是非アクセスしていただき、安全衛生活動の参考にして下さい。

師走の季節、気忙しい毎日ですが、今一度立ち止まり、足元安全の確保と危険箇所の徹底的な排除をお願いします。

平成最後の12月、素敵なクリスマスとご家族揃っての健やかなお正月を、働く仲間全員で迎えましょう！

挨拶は「ご安全に」、仲間の顔を見て「ご安全に」、帰宅する際も「ご安全に」。
自分自身の安全確認はもとより、仲間の安全を想い、心を込めて「ご安全に」。

2018年12月3日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 弥久末 顕